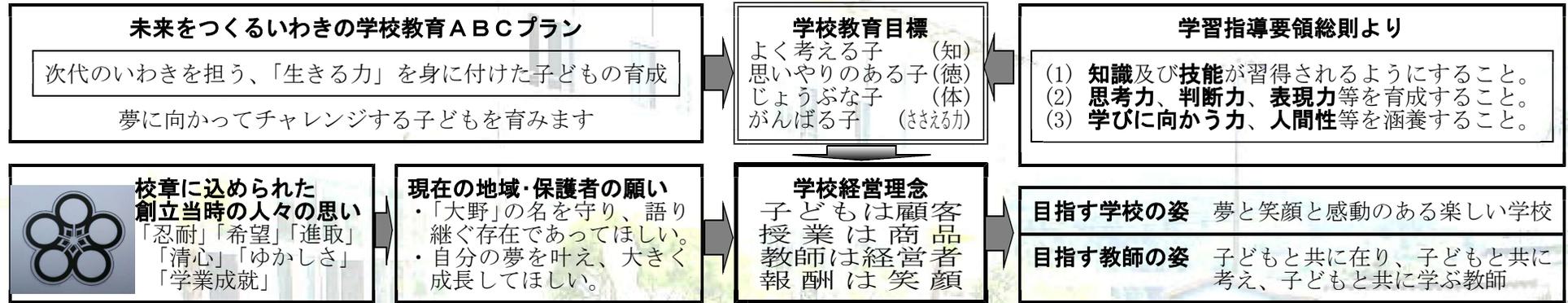


# 学校経営・運営ビジョン2019(案) 大野第二小学校



## 「ひろはた」の子どもを育てる「ABCD」プラン2019

	ひ	ろ	は	た
<b>P</b> <b>r</b> <b>a</b> <b>n</b>	ひろい心を持つ 子どもに育てたい(徳) <b>Care</b> (配慮) 少人数、複式学級の利点を生かした日常生活指導(異年齢交流)	ろり的な考え方でできる 子どもに育てたい(知) <b>Base</b> (基礎) 日々の授業の充実(わかる喜び→達成感・成就感→学ぶ喜び)	はたらくことが大好きな 子どもに育てたい(ささえる力) <b>Activity</b> (活動) 地域の自然・産業・人材に学ぶ体験活動(地域に学ぶキャリア教育)	たくましい体を持つ 子どもに育てたい(体) <b>Development</b> (成長) 年間を通じた業間運動の奨励(児童同士での遊び方の工夫)
<b>D</b> <b>o</b>	【年間を通じて定期的実施】 ① 縦割り組織を生かした学校行事 ② 児童が計画する児童会活動 ③ いじめ”ゼロ”アクション	【毎時間の授業で必ず実施】 ① めあてとまとめの整合性 ② 課題解決のための話し合い ③ その時間の学びの振り返り	【学期毎に重点的に実施】 ① 地域人材を利用したキャリア教育 ② 奉仕・ボランティア活動の実践 ③ 地域に学ぶ「大野わくわく探検隊」	【年間を通じて継続して実施】 ① 児童が工夫した業間遊び実施 ② 健康指導・保健指導・食育指導 ③ いざというときの防災教育
<b>C</b> <b>h</b> <b>e</b> <b>c</b> <b>k</b>	① 学校行事後の児童の感想から成果と課題を探る。 ② 児童と保護者のアンケートを実施して集約し、改善点を探る。 ③ いじめアンケートを定期的実施する。	① 講師を招聘した計画的な授業研究を実施する。 ② 管理職を補欠として活用して、互見授業を計画的に実施する。 ③ 日々の担任間での情報交換を密に行い、適宜記録を蓄積する。	① 農業体験、野生生物観察、昆虫観察等、多様な人材を確保する。 ② 地域とともにクリーン活動や老人宅の訪問等を計画・実施する。 ③ 「大野」の歴史・伝承等を次世代につなげていく活動を実践する。	① 体力テスト、定期的な健康診断で個人の成長を記録する。 ② 自分手帳を活用した指導による自己管理を定着させる。 ③ 校内生活に加え家庭や外出時でも有用な防災教育を実践する
<b>A</b> <b>c</b> <b>t</b> <b>i</b> <b>o</b> <b>n</b>	<input type="checkbox"/> 児童の考える成果の賞賛と課題についての話し合い活動の保障 <input type="checkbox"/> 失敗体験を生かした、認め合う集団作り <input type="checkbox"/> いじめの発生を未然に防ぐ人間関係の醸成	<input type="checkbox"/> 課題解決を目指した日々の授業の改善 <input type="checkbox"/> 互見授業による気づきの活用と教員文化の継承 <input type="checkbox"/> 定着確認テストのショートスパンでのフィードバック	<input type="checkbox"/> 地域・保護者の思いを大切にしたい地域学習の推進 <input type="checkbox"/> 来てもらう教育から、出て行く学びへ、学びの発信への変容 <input type="checkbox"/> 定期的なキャリアカウンセリングによるプランニングの修正	<input type="checkbox"/> 教師も参加しての業間遊びの推奨 <input type="checkbox"/> 家庭との連携を強化した、自己管理能力の育成の推進 <input type="checkbox"/> 避難訓練、防災、防犯、交通安全教室の見直しと話し合い